

校長室だより No1 1

2017年12月20日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

「冬休みに向けて 交通事故に 今一度の注意を」

今日から午前授業となりました。

あと2日で冬休みがやってきます。クリスマスやお正月が近づき、子どもたちにとって楽しいことがたくさん続く冬休みです。

今日は、あらためて交通事故についてのお願いをしたいと思います。

交通事故の被害者にならないために、加害者にもならないために、ご家庭でも繰り返し確認をしてほしいと思います。

先週の金曜日に、市内の小学校4年生の女の子が交通事故で亡くなるという痛ましい事故がありました。

そろばん塾の帰りに、歩道を自転車で走っていたところ、一方通行の細い道から来た軽乗用車と接触し、そのまま車体の下に巻き込まれてしまったと聞いています。運転手のペダルの操作ミスも重なっていたとも聞いていますが、詳細は明らかではありません。

安全な歩道を走っていたのに、運転手も徐行はしていたと思われるのに、誰もが事故の前に時間を戻したいと思っていますが、取り返しがつかないこととなってしまいました。

通勤途中に事故現場に行き、手を合わせながら、二度と起こしてはならないと思いました。

本校の怪我の発生状況を見ると、1番は校庭での怪我ですが、2番目は登下校中の怪我になっています。この怪我は交通事故ではなく、転ぶなどした怪我ですが、一歩間違えばという、ヒヤリハットの事例とも考えられます。

家の周り、子どもたちが通る道の危険箇所を、具体的に子どもたちに教え、注意して行動できるように、学校でも家でも行っていききたいと思います。

次に、交通事故の加害者になる危険性についても同時に考えさせていきたいと思います。

先日、交通安全推進隊の方からお電話をいただきました。

「光ヶ丘団地周辺の歩道を走っている子どもたちの自転車が、スピードを出しており、角から急に出てきたりする。車は通らない場所でも人とぶつかる危険があるので、注意してほしい」ということでした。周辺の学校に全て電話をしてくださっているとのことでした。

学校では、担任から注意をするようにしましたが、ご家庭でもお願いします。

ここ数日の間に、中学校3年生が、女子大学生が、自転車で死亡交通事故を起こしてしまっています。自転車は交通被害者の立場だけだと思っていましたが、加害者にもなるのです。前途ある子どもに、絶対にさせてはなりません。注意喚起をお願いいたします。

<下の写真は、2年生が1年生に昔の遊びを教えてあげた生活科の授業の一コマです。あやとり・けん玉・だるま落とし・こま・お手玉・めんこ・おはじきを上手に教えていました>

